

センターだより

Vol.101

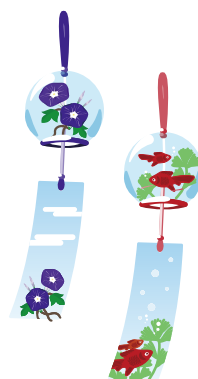
発行 令和6年8月



大分県障がい者スポーツ大会

目次

- 役立つ情報をお届けしたい! (所長挨拶) 1
- 第19回大分県障がい者スポーツ大会 2
- 蛍の交歓会～竹田市立南部小学校との交流～ 3
- 新米師長のあいさつ 4
- 終了した方の今 5
- 地元で開催される障がい者スポーツ大会に参加してみませんか 6
- 転入・新規採用職員からのひとこと 7
- 令和6年度頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会の開催について、職員の異動 8
- 終了者の状況、別府重度障害者センターYouTubeチャンネル開設のお知らせ・裏表紙



頸髄損傷者等の自立を支援します



役立つ情報をお届けしたい！

別府重度障害者センター所長 下山 敬寛

残暑お見舞い申し上げます。別府では今年も本当に暑い日が続いており、センター内の冷房もフル稼働しております。まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

別府重度障害者センターでは、コロナウイルス感染拡大の影響もあり、これまで臨床実習の受け入れを見合わせておりましたが、今年4月から再開しました。今年度は計20名ほどの実習生を受け入れる予定です。また利用者の皆さんが地域の行事に参加する機会も増えつつあります。6月には5年ぶりに「蛸の交歓会」の行事に参加するため、利用者が竹田市立南部小学校へ伺いました。これからも基本的な感染対策を継続しつつ、地域との繋がりも大切にしていきたいと思います。

さて、別府重度障害者センターでは、頸髄損傷者のリハビリテーションに関する情報やセンターが取り組んでいる活動などについて、昨年から定期的にSNS(X、YouTube)で情報発信をしております。頸髄損傷者のリハビリテーションに関する情報が得られず、困っている頸髄損傷者の方がまだまだ多く居るという現状や、別府重度障害者センターがどのような施設なのか知りたいといった声から情報発信をはじめました。Xでは、「用具紹介」「頸髄損傷者の住まいの工夫」「イベント紹介」などを週に1回発信しています。これまでの閲覧回数を踏まえ、頸髄損傷者やそのご家族、リハビリテーションに関わる方々が何を知りたいかを考えながら、「役立つ情報をお届けしたい！」と思っています。またこれまでに制作した6本の紹介動画(YouTube)は、利用者の皆さんの出演協力を得て、よりリアルな内容でお届けしています。特に利用者の皆さんのリハビリテーションに取り組む真剣な表情、訓練時ときおり見せる笑顔などは好評を得ております。最近では利用相談の中で「YouTubeを見ました」という声も聞かれます。皆様、ぜひご覧ください。

最後にとっても役立つ情報をひとつお届けします。今年11月5日からオンデマンドで「頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会」を行います。毎回多くのリハビリテーション関係者の方々に参加頂いている研修会で、今回のテーマは「つながる支援～安定した在宅生活を送るために～」です。頸髄損傷者の方々の安定した在宅生活に向けて役立つ情報をお届けします。申込みは8月26日からホームページ上で受付開始の予定です。頸髄損傷者のリハビリテーションに関わっている皆さまに「役立つ情報をお届けしたい！」という気持ちで、ただいま職員一丸となって準備中です。



第19回大分県障がい者スポーツ大会

医務課 運動療法士長 木畑 聡

暖かくなってくると、各地でスポーツ大会が開かれます。からだを動かすには良い季節ですね。今年も、第19回大分県障がい者スポーツ大会が開催され、4月から5月にかけて県内各地でさまざまな競技が実施されました。例年、当センターでは参加者を募集して各種競技に参加しています。今年はアーチェリー競技と陸上競技に参加しました。

アーチェリー競技は、4月7日に別府市の実相寺アーチェリー場で開催され、利用者のHさんが参加しました。練習期間も短くご本人も参加を迷った時期もありましたが、少しずつ調子上げ、大会前に集中して練習に取り組むことができ参加を決意しました。大会本番は心配された後半の疲労による落ち込みも最小限に抑えて72本の矢を打ち切り、ベストスコアを出すことができました。

陸上競技は5月18日に大分市のレゾナックドーム大分で開催されました。大会前にはスポーツ訓練の時間やセレクトティブワークの時間を活用して練習に取り組み、準備をしてきました。6名エントリーしていましたが、2名は残念ながら体調不良で参加ができませんでした。参加した4名は、50m走・100m走・800m走・スラローム・ビーンバック投げなど、障害の程度や年齢に応じて参加可能な種目に参加しました。当日は5月らしいさわやかな天気の下、PT・OT実習生や当日応援にかけつけていただいた土師師長のよく通る声での大声援もあり、「陸上競技はこんなに楽しかったかな？」と思えるような、真剣かつどこか和やかな雰囲気を感じることができる大会となりました。競技者の近くで応援できるのもこの大会の特徴ですね（一般の陸上競技会ではトラックやフィールドに観客が入れないことがほとんどです）。

OB・OGの参加もありました。年に一度ですがお会いできることを職員も楽しみにしています。センターを終了されて地域で生活されている皆さん、皆さんのお住まいの都道府県でも同じような大会があります。本号の6ページで詳しいことは記載しています。来年は参加を検討してみてはいかがでしょうか。



蛭の交歓会～竹田市立南部小学校との交流～

支援課 生活支援専門職 吉川 杏美

6月6日(木)、今年で58回目を迎える蛭の交歓会が開催されました。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響で、中止を余儀なくされたり、オンラインでの交流にとどまったりしていました。今回は、センターから利用者2名と職員で南部小学校を訪ね、6年生の児童と交流することができました。他の利用者はセンターからオンラインで参加しました。今回の交流の様子について報告をさせていただきます。

児童からは、学校紹介、蛭の交歓会の歴史、竹田市の名産品等について学習したものをまとめたスライドの発表がありました。児童それぞれが学習したことがしっかりとまとめられていて、とても分かりやすい発表でした。続けて、合唱の発表がありました。生き生きと力強い合唱で、利用者も職員も元気をもらいました。

利用者からは、受傷後の経過やセンターでの目標・訓練内容を発表し、児童からの質問にも受け答えをしました。

今回参加した利用者2名に感想を伺いました。

Aさん:学校を訪問することは久しぶりだったということですが、児童のみなさんと直接交流ができて良かったです。児童のみなさんがしっかりと考えて発表してくれたことが嬉しかったです。また、私が訓練で制作した手織の作品を紹介し、興味を持ってくれたことが嬉しかったです。

Bさん:児童のみなさんの発表は素晴らしかったです。今回参加したことは、私としても貴重な社会経験になりました。次回も機会があれば、是非参加したいです。

短時間の交流ではありましたが、参加した利用者にとって、児童と直接交流する機会は得がたい経験となり、今後の訓練のモチベーションにもつながったと思います。昭和41年から続く歴史ある大事な行事を、末永く継続できるようにしていきたいです。



新米師長のあいさつ

看護部門 土師 信子

徳永師長からバトンを受け継ぎ、早5ヵ月。師長業務に四苦八苦しながら利用者、職員の皆さまに助けられて日々過ごしております。

看護部門は、いろいろなことがありました。R6年度になっても新型コロナはまだまだ終息の兆しがなく感染対応には大変苦慮しました。そんな中、5月に大分県障害者スポーツ大会が開催されました。利用者のAさんは、この大会出場のために日頃から訓練を積み準備をしていたのですが、大会参加直前の健康チェック時に体調不良のため参加が叶わず、悔しい思いをされていました。本当に残念でした。

大会当日は、少々暑さはありませんでしたが、爽やかな日となりました。日頃の成果を発揮して皆さんが金メダルを受賞しました。

参加された利用者の方は、この大会に出場するまで低血圧症状の克服、乗車耐久力の向上、痛みや痺れとの折り合い、排泄管理の自立などの努力を重ね日常生活を整えてその場に参加しています。

私は、障害者スポーツ大会や車椅子マラソンの応援が大好きです。センター内でみる姿とはまた違った真剣な姿に声援を送ることは、当センターの看護師で良かったと思える時間です。私もエネルギーをもらえます。

利用者の方が、受傷してから様々な葛藤や喜びを経て、それらの大会に参加していること自体に金メダルを授与したいと思います。

私たち看護師は、これからも利用者の皆さんと共に日常生活を整え、やりがいあるスポーツや趣味に出会えて無事に参加できますように皆さんの健康管理に従事していきますのでよろしくお願いいたします。



終了した方の今

支援課 主任就労支援専門職 中山 修司

今回ご紹介するのは、車いすマラソン大会での勇姿がセンターだよりの表紙を飾ったこともある、ネパール出身のM.スジャンさんです。(当時のセンターだよりvol.96同様、本人の了解を得て今回も実名表記です)

記事にもなった第40回大分国際車いすマラソン大会に参加した後は、別府市内にある「太陽の家」の就労移行支援を利用し、いくつかの企業実習を経て、エフサステクノロジーズ太陽株式会社へ就職しました。

○生活の流れ

7:30起床(排便日は6:00起床) → 8:30出勤 → 8:45～17:30勤務

→ 18:30～21:00車いすバスケの練習、練習がない日は自宅でゲームなど → 0:00就寝



〈作業風景〉

○仕事内容

不具合のあるPCのどこが悪いのか診断し、部品の交換などの修理をした後、正しく作動するか確認を行うといった一連の仕事をしています。診断するためにはいろいろ調べて、判断しなければいけないことも多く、仕事をするのが楽しいと話してくれました。

○スポーツについて

車いすバスケの練習を週に3回参加しています。センターに在籍中もツインバスケ(車いすバスケの一種。通常のバスケットゴールの他に1.2mの低いゴールも使用することからツインバスケと呼ばれます。詳細は、当センター『在宅生活ハンドブックNo.27車いすツインバスケットボール』をご参照下さい)に毎週参加して、積極的なプレイスタイルでホールを沸かせてきました。今はチームに所属して、よりレベルの高い選手達に交じってプレイしているようです。

また、車いすマラソンも続けており、今年も参加する予定です。センターで始めたスポーツを続けてくれているのはとてもうれしいですね。

就職後に運転免許を取得し、給料を貯めて車を購入しました。日本での生活も安定していますね。

センターを利用して良かったことは?という問いかけに少し考えて、今の生活につながるきっかけになったことと話してくれました。最初に会ったときに、日本で長く生活したいと話していたスジャンさん。頑張った甲斐がありましたね。今年も車いすマラソン、応援に行きますよ～。



〈愛車とともに〉

地元で開催される障害者スポーツ大会に参加してみませんか

医務課 運動療法士長 木畑 聡

当センターでは、スポーツ訓練を通してさまざまなスポーツの経験をしていただいています。受傷後スポーツとは無縁だった方も、車いすをある程度自由に操作できるようになったり、ボールが投げられるようになったりした方も多いのではないのでしょうか。せっかく培った能力ですが、センターを終了し地域で生活するようになって発揮する機会がない方もいらっしゃると思います。

当センターで訓練を受けた方であればほとんどの方が参加できるのが、地域で開催されている〇〇県障害者スポーツ大会です。年に1度、都道府県単位で開催されています。開催時期については春か秋が多いようです。種目については、陸上競技はほぼ全国各地で開催されています。その他の実施種目については、都道府県によって異なります。

今回は、頸髄損傷者の陸上競技についてお伝えしようと思います。競技は障害の程度・年齢・性別で分かれており、カテゴリーによって参加できる種目が決まってきます(表1参照)。一般の陸上競技にある種目から、50m走・スラローム・ビーンバック投げなど障害者スポーツ独自の種目もあります。障害者手帳を持っていればどなたでも参加が可能です。詳細については、お住まいの地域の市町村の障害福祉課に問い合わせてください。エントリーについては、大会開催日の数カ月前に締め切っているところが多く、興味をお持ちでしたら早めに連絡を取りスケジュールを確認しておくといよいでしょう。大会での成績が良いと、全国障害者スポーツ大会の都道府県代表として選出されることもあります。今年は佐賀県での開催になります。

当センターは大分県にあります。センター終了後に大分県にお住まいの方で毎年継続して参加されている方もいます。初回の参加には少し勇気がいるかもしれませんが、一度参加するとその敷居は低くなるのではないのでしょうか。興味があれば、まずは地域の障害福祉課に電話を…。よくわからなければ、当センターのスポーツ訓練担当までご連絡ください。

表1 クラス別参加可能な種目

	50m	100m	200m	800m	1500m	スラローム	ビーン バック 投	ジャベリック スロー	ソフト ボール 投	砲丸 投
C 6	○	○				○	○			
C 7		○	○	○	○	○	○			
C 8		○	○	○	○	○		○	○	○
電動						○	○			

* 順位を決める際には、さらに年齢別(1部 39歳以下 2部 40歳以上)、性別で分かります。

転入・新規採用職員からのひとこと

山下 庄二(支援課・支援課長)

福岡視力障害センターから転任して参りました山下です。出身は鹿児島、初任地は別府重度障害者センター。その後、他の施設に行ったり戻ったりして、4度目の勤務になります。流暢だった鹿児島弁も今では影を潜めています。初心を忘れず、経験も活用しながら仕事に励みたいと思いますので、よろしくお願いします。

渡邊 喜美久(支援課・就労支援員)

埼玉県所沢市にある国立障害者リハビリテーションセンターから転入してまいりました渡邊と申します。大学以降は全国を転々としており、その影響か関西弁がなくなりました。九州での生活は生まれて初めてなので、毎日が新鮮です。刺身の美味しさに驚きました。勤務年数は2年目で、若輩者ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

安達 美和(医務課・看護師)

4月入職の安達です。私がこのセンターにお世話になるのは2度目となります。利用者の方の貴重な訓練期間の中で、少しでも多く健康管理面で支援ができるように頑張ります。好きな季節は秋、好きな果物は柿です。どうぞよろしくお願いします。

小野 麻衣(医務課・看護師)

4月入職の小野です。結婚を機に4年前に別府へ移住してきました。人と関わる事が大好きです。センターでのご縁を大切に、看護師としてみなさんの健康管理に携わっていきたいと思います。元気と明るさが取り柄です。どうぞよろしくお願いします。

高木 龍(医務課・理学療法士)

5月から新規採用となりました高木龍(たかきりょう)です。以前は湯布院病院にて理学療法士を勤めておりました。前の職場で経験したことを活かせる場面もありますが、センターに来てから学ぶことも多く、ここで新たに学んだことも自分の糧にしていきたいと思います。不慣れなことも多いと思いますが、どうかよろしくお願い致します。



令和6年度頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会の開催について

令和6年度頸髄損傷者に対するリハビリテーション研修会を11月5日～12月25日に当センターと国立障害者リハビリテーションセンター(所沢市)との共催でオンデマンド開催します。

今年度は「つながる支援～安定した在宅生活を送るために～」をテーマに、総論、各論、事例紹介を通して、頸髄損傷者に対するリハビリテーションへの理解を深めていきたいと考えています。

8月26日から特設サイトで参加受付を開始します。詳細はホームページでご確認ください。

職 員 の 異 動

令和6年3月31日付

○退職 医務課看護師長 徳永 ひろ子

○任期満了 庶務課調理師 川野 寿喜

令和6年4月1日付

○転入 支援課長 山下 庄二 (福岡視力障害センターから)
支援課就労支援員 渡邊喜美久 (国立障害者リハビリテーションセンターから)

○転出 支援課主任生活支援専門職 阿部 真市 (国立障害者リハビリテーションセンターへ)
支援課就労支援専門職 徳山 和揮 (国立障害者リハビリテーションセンターへ)

○内部異動 庶務課会計係長 丸山 由紀子
支援課主任生活支援専門職 有馬 昭郎 (役職定年による異動)
医務課看護師長 土師 信子
医務課副看護師長 後藤 裕子

○新規採用 医務課看護師 安達 美和
医務課看護師 小野 麻衣

令和6年5月1日付

○新規採用 医務課理学療法士 高木 龍

終了者の状況

(令和6年1月1日～令和6年6月30日)

復帰形態	家庭復帰	就職	自営・内職	復職	就労移行支援	就労支援施設・能開校	他施設	進学復学	その他	計
人数	3	1	0	1	0	0	2	0	0	7
比率(%)	43	0	0	14	14	0	29	0	0	100

別府重度障害者センターYouTubeチャンネル開設のお知らせ

別府重度障害者センターについて、分かりやすくご説明するための動画を作成しました。
ぜひ、ご覧ください！



X (旧Twitter) もはじめました。
イベントやお役立ち情報を配信中！

🔍 別府重度



役立つ情報満載！
HPもご覧下さい

別府重度

🔍 検索

<http://www.rehab.go.jp/beppu/>



電話 (0977) 21-0182 (利用相談) FAX (0977) 21-2794